

コロナ倒産 累計1500件に

飲食など苦境鮮明

東京商工リサーチは二十一日、新型コロナウイルス関連の全国の倒産件数が昨年二月からの累計で千五百件に達したと発表した。外出自粛や時短営業などの影響で売り上げが回復せず、

飲食業を筆頭に経営に行き詰まる例が目立つ。関連倒産は二月から三カ月連続で月間最多件数を更新。増加傾向が鮮明になっている。

累計の業種別では、飲食業が最多の二百七十四件。工事計画見直しといった影響を受けた建設業が百三十六件、訪日客の需要が喪失した宿泊業は七十九件だった。